

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

農業 科目 総合実習

教科： 農業

科目： 総合実習

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 E 組

使用教科書：

教科 農業

の目標：

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目

総合実習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> ・野草の名前・特徴について理解できる。 ・造園道具の安全かつ効率的な使い方を身に付ける。 ・樹木の葉を見て、樹木を判断できる。 ・製図の基礎知識を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートを分かりやすくまとめることができる。 ・論理的に考え判断しまとめることができる。 ・剪定において、切るべき枝を判断できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習手帳を準備できており、必要なメモをしっかりと取っている。 ・班員と協力して作業することができる。 ・自ら必要な道具が準備できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A：圃場管理 ホーの安全かつ効率的な使い方を身に付ける。 レポートを分かりやすくまとめることができる。 実習手帳を忘れずに持参し、メモすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・除草の方法について ・樹木の剪定について ○ホー、刈込みばさみ 等 ●レポートの提出 等	A：圃場管理 ホーの安全かつ効率的な使い方を身に付けている。レポートを分かりやすくまとめることができている。実習手帳を忘れずに持参し、メモを取っている。	○	○	○	11
	B：製図 製図機器の名称と使用方法を理解する。 レポートを分かりやすくまとめることができる。 実習手帳を忘れずに持参し、メモすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・製図について ○製図道具（定規・コンパス他） ●レポートの提出 等	B：製図 製図機器の名称と使用方法を理解する。レポートを分かりやすくまとめることができる。実習手帳を忘れずに持参し、メモを取っている。	○	○	○	11
	定期考査（農業鑑定）	・造園樹木について	・樹木の葉を見て、樹木名が判断できる。	○	○		2
2 学期	A：圃場管理・樹木剪定 剪定ばさみ・剪定のこぎりの安全かつ効率的な使い方を身に付ける。 剪定において、切るべき枝を判断し、切る（表現）ことができる。 自ら考えて、必要な道具を準備することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・圃場管理について ・樹木の剪定について ○剪定ばさみ・剪定のこぎり 等 ●レポートの提出 等	A：圃場管理 ○剪定ばさみ・剪定のこぎりの安全かつ効率的な使い方を身に付け、作業できる。 ○不要枝を理解し、切るべき枝を判断することができ、剪定することができる。 ○自ら考えて、作業に必要な道具類を準備し、班員と協力して作業ができている。	○	○	○	13
	B：製図・トレース検定 トレース検定の内容を理解し、基本的なトレースができる。 レポートをまとめることができ、課題について調べ論理的に判断できている。 自ら必要な道具を準備し、実習に積極的に取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・製図について ・トレースについて ・透視図について ○製図道具・トレーシングペーパー等 ●レポートの提出 等	B：製図・トレース検定 トレース検定の内容を理解し、基本的なトレースができている。 レポートをまとめることができ、課題について調べ、論理的に判断でき、まとめられている。 自ら考えて、製図に必要な道具類を準備し、班員と協力して作業ができている。	○	○	○	13
	定期考査（農業鑑定）	・造園樹木について	・樹木の葉を見て、樹木名が判断できる。	○	○		2
3 学期	A：造園作業の基本技術 造園道具の安全かつ効率的な使い方を身に付ける。また各種結束方法を学ぶ。 レポート課題について調べ、論理的に判断し、表現できる。 自ら考えて、必要な道具を準備することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・造園基本技術について ・道具の使用 ○げんのう・きり・シュロ縄 等 ●レポートの提出 等	A：圃場管理 ○剪定ばさみ・剪定のこぎりの安全かつ効率的な使い方を身に付け、作業できる。 ○レポート課題についてしっかりと調べることができ、それを論理的に判断し、まとめられている。 ○自ら考えて、作業に必要な道具類を準備し、班員と協力して作業ができている。	○	○	○	8
	B：製図・レタリング レタリング検定の内容を理解し、基本的なレタリングができる。 レポートに授業内容を分かりやすくまとめ、期限内提出できている。 自ら必要な道具を準備し、実習に積極的に取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・製図について ・レタリングについて ・透視図について ○製図道具・プリント 等 ●レポートの提出 等	B：製図・レタリング検定 レタリング検定の内容を理解し、基本的なレタリングができている。 レポートをまとめることができ、課題について調べ、論理的に判断でき、まとめられている。 自ら考えて、製図に必要な道具類を準備し、班員と協力して作業ができている。	○	○	○	8
	定期考査（農業鑑定）	・造園樹木について	・樹木の葉を見て、樹木名が判断できる。	○	○		2
							合計
							70

備考：他1単位（総合実習B）を時間外で35時間行う。

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 農業 科目 農業と環境

教科：農業 科目：農業と環境 単位数：4 単位

対象学年組：第1学年 E組

使用教科書：（実教 農業と環境 新訂版）

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 農業と環境 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 第3章「栽培と飼育の基礎」 ・作物の栽培に興味を持たせる。 ・作物の特性や管理、及び生育に及ぼす環境要因について科学的に捉え主体的に学ぶ意欲と態度を身に付けさせる。	・作物の自然分類 ・種子の発芽と播種 ・成長の仕組みと管理 ・トウモロコシの栽培と利用 ・トマトの栽培について ・ダイズの栽培について ・農業用具 ・栽培環境	【知識・技能】 作物の特性や生育環境・管理に関する基本的なことを理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 作物の栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し想定される管理上の諸課題について管理し、解決に向けて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 作物に興味・関心を示しその特性や管理、および生育に及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	○	○	○	20
	B 単元 第3章「栽培と飼育と基礎」 作物の特性や生育環境・管理に関する実践的な知識を身に付けさせ、管理の原理や方法を理解させる。	・トウモロコシの栽培 ・エダマメの栽培 ・トマトの栽培 ・ナスの栽培 ・ピーマンの栽培	【知識・技能】 作物の特性や生育環境・管理に関する実践的な知識を身に付け、管理の原理や方法を理解している。 【思考・判断・表現】 栽培管理、生育環境の調査を適切に実施し、実施結果をまとめてレポートとして文章で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 作物に興味関心を示し、積極的に授業に取り組む。班員と協力して作業している。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		2
2 学 期	A 単元第 3章「栽培と飼育の基礎」 ・作物の栽培に興味を持たせる。 ・作物の特性や管理、及び生育に及ぼす環境要因について科学的に捉え主体的に学ぶ意欲と態度を身に付けさせる。	・ダイコンの栽培について ・ハクサイの栽培について ・肥料設計と施肥理論 ・有害生物防除 ・作付け体系 ・気象災害	【知識・技能】 作物の特性や生育環境・管理に関する基本的なことを理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 作物の栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し想定される管理上の諸課題について管理し、解決に向けて創造的に解決する。 【主体的に学習に取り組む態度】 作物に興味・関心を示しその特性や管理、および生育に及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	○	○	○	30
	B 単元 第1章 「農業と環境のプロジェクトと実際」 農業の学び方（プロジェクト学習）に関心を持ち、実践する意欲と態度を身に付けさせる。	・プロジェクト学習とその流れ ・プロジェクトの課題設定 ・栽培プロジェクトの実際 ・栽培計画 ・ダイコンの栽培 ・カブの栽培 ・コマツナの栽培 ・ミズナの栽培 ・ホウレンソウの栽培	【知識・技能】 プロジェクト実施の意義・方法進め方を理解している。 【思考・判断・表現】 自らの課題に基づき、適切な課題を設定し実施に向けた計画を立案している。 【主体的に学習に取り組む態度】 プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	30
	定期考査・答案返			○	○		2
3 学 期	A 単元 第1章 「農業と環境のプロジェクトと実際」 農業の学び方（プロジェクト学習）に関心を持ち、実践する意欲と態度を身に付けさせる。	・報告書の作成と発表	【知識・技能】 プロジェクトの報告書の作成方法を理解している。 【思考・判断・表現】 栽培管理、生育環境の調査を適切に実施し、実施結果をまとめて報告書を作成し発表している。 【主体的に学習に取り組む態度】 プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協働的に取り組んでいる。				17
	B 単元 「栽培・飼育と環境のプロジェクト」 さまざまな農業生物の栽培・飼育と加工や、環境保全のプロジェクトを通して、農業と環境に関する知識と技術を身に付けさせる。	・ジャガイモの栽培 ・プロジェクト学習	【知識・技能】 ジャガイモの植え付けについて理解する。 【思考・判断・表現】 一年間のプロジェクト学習のまとめ、反省や評価を行い、次年度の課題を見つける。 【主体的に学習に取り組む態度】 作物に興味関心を示し、積極的に授業に取り組む。班員と協力して作業する。				17
	定期考査・答案返却			○	○		2

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 農業 科目 造園施工管理

教科：農業

科目：造園施工管理

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 E組

使用教科書：（文部科学省 造園施工管理）

教科 農業

の目標：

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 造園施工管理

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
・3級造園技能検定実技試験合格レベルの技術・知識を習得できている。 ・樹木の剪定を中心とする管理作業ができる。 合理的な施工を行うために工程を管理できる。	・図面から判断し適切に施工できる。 ・樹木剪定で切るべき枝を考え判断できる。 ・パーチャート工程表で工程管理できる。	・造園について興味・関心を持ち技術・知識の習得に主体的に取り組もうとしている。 ・必要な準備物や作業を考え、積極的に行動することができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	A 単元 「竹垣」 四ツ目垣の各部材の名称と役割の理解。作成工程、作成手順の確認。	・四ツ目垣の各部材の名称と役割 ・作成工程 ・作業手順	【知識・技能】 四ツ目垣の基本構造を理解している。 【思考・判断・表現】 竹の扱い方を考え、適切に判断して施工できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作業に積極的に取り組み、班員と協力して行っている。	○	○	○	11
	B 単元 「樹木剪定」 カイヅカイブキの剪定を通して、刈込剪定の技術を向上させる。 三脚のかけ方について学ぶ。 その他樹木剪定において、不要枝の判断ができる。	・カイヅカイブキ剪定 ・刈込剪定の方法について ・三脚のかけ方について ・不要枝の判断について	【知識・技能】 樹木の種類に合わせて、適切に剪定・管理することができる。 【思考・判断・表現】 現場の状況に合わせて、適切な三脚のかけ方を判断することができる。 不要枝を判断し、切るすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 作業に積極的に取り組み、班員と協力して行っている。	○	○	○	11
	定期考査・返却			○	○		2
2 学期	A 単元 「延段とつくばい」 延段の信・行・草について理解 延段の作成例と使用される石材について理解。 茶庭と路地について理解。	・延段の信・行・草について ・延段の作成例と使用される石材 ・延段の目地について ・茶庭と路地について ・茶道とつくばいの関わりについて	【知識・技能】 延段の信・行・草について理解している 【思考・判断・表現】 避けたい目地について理解し、考え組み合わせを判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 必要なものを主体的に判断し、準備することができる。	○	○	○	13
	B 単元 「丁張とレンガ施工」 丁張について理解している。 レンガを適切に3段積むことができる。	・丁張（縦丁張）について ・レンガの使用方法について ・モルタルについて ・レンガの積み方と目地について	【知識・技能】 縦丁張の活用方法が理解している。 モルタルを適切に作るすることができる。 【思考・判断・表現】 モルタルに混ぜる水分量を適切に判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 必要なものを主体的に判断し、準備することができる。	○	○	○	13
	定期考査・返却			○	○		2
3 学期	A 単元 「工程管理と積算」 工程管理の意義について理解している。 図面から必要な材料を考慮することができる。 材料の価格を調べ、積算することができる。	・工程管理について パーチャート工程表 ネットワーク工程表 ・積算について	【知識・技能】 工程表の種類について理解し、工程表を作ることができる。 【思考・判断・表現】 図面から必要な材料を考慮ことができ、積算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループで協力し、積極的に積算を行うことができる。	○	○	○	9
	B 単元 「小庭園の作成」 小庭園作成の手順を理解している。 班員と協力して小庭園を図面通りに作成することができる。	・各種造形物の施工手順について ・図面の見方について	【知識・技能】 計画した造形物について、作成手順を検討し施工することができる。 【思考・判断・表現】 作成した図面から、実際の庭園にすることができる。工程を考え取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 班員と協力し、積極的に庭園作成に取り組んでいる。	○	○	○	9
	定期考査・返却			○	○		2

合計
70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 農業 科目 測量基礎

教科： 農業 科目： 測量基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 E組

使用教科書： (実教出版 農業測量)

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 測量基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
<ul style="list-style-type: none"> 平板測量・レベル測量・角測量の技術・知識を習得できる。 アリダード、オートレベル、トータルステーションの据え付けができ、使用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 短時間で据え付けられる方法を考え、取り組むことができる。 測量で生まれる誤差の原因について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 測量について興味・関心を持ち、技術・知識の習得に主体的に取り組もうとしている。 必要な準備物や作業を考え、積極的に行動することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	「平板測量」 1) 平板測量の据え付け（整準・至心・定位）ができる 2) 必要な道具を用いて測量（導線法・放射法・交会法）ができる。	第1章 平板測量 1) 平板測量の器具 2) 平板の据え付け 3) 平板測量の方法 4) 面積の算定	【知識・技能】 平板測量の据え付けを短時間で行える。平板測量の方法を理解し、測量できる。 【思考・判断・表現】 閉合誤差の修正方を自ら考え実践する。 【主体的に学習に取り組む態度】 作業に積極的に取り組み、班員と協力している。	○	○	○	25
	定期考査（中間考査・期末考査）	・実技試験を含む		○	○		2
2 学期	「水準測量」 1) オートレベルの据え付けについて学ぶ。 2) 必要な道具を用いてレベル測量ができる。	第2章 水準測量 1) 水準測量の機械・器具 2) 水準測量の方法 野帳記入の方法 3) 水準測量の誤差	【知識・技能】 オートレベルの据え付けを短時間で行える。水準測量の方法を理解し、測量できる。 【思考・判断・表現】 測量誤差の修正方を自ら考え実践する。 【主体的に学習に取り組む態度】 作業に積極的に取り組み、班員と協力している。	○	○	○	30
	定期考査（中間考査・期末考査）	・実技試験を含む		○	○		2
3 学期	「角測量」「トラバース測量」 セオドライトの据え付けについて学ぶ。 必要な道具を用いて角測量を行うことができる。 トータルステーションの据え付けについて学ぶ。 必要な道具を用いてトラバース測量を行うことができる。	第3章 角測量 1) 角の種類と機械の構造 2) セオドライトの据え付け 4) 角の測定 第4章 トラバース測量 1) トラバースの組み方 2) トラバース測量の外業	【知識・技能】 測量機械の据え付けを短時間で行える。角測量の方法を理解し、測量できる。 【思考・判断・表現】 測量を効率的に実施する方法を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 作業に積極的に取り組み、班員と協力して行っている。	○	○	○	10
	定期考査	・実技試験を含む		○	○		1

合計
70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 農業 科目 総合実習

教科： 農業 科目： 総合実習 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 E組

使用教科書： （ 日本造園組合連合会-3級造園技能検定の手引き、 文部科学省-造園施工管理 ）

教科 農業 の目標：

- 【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 総合実習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・3級造園技能検定実技試験合格程度の技術・知識を習得している。 ・樹木管理（根巻き・剪定）について理解し、実践できる。 ・小庭園が作成できる。	・3級造園技能士検定の受験を通して、効率の良い作業方法や手順について考えることができる。 ・樹木剪定において、適切な判断のもと剪定できる。 ・将来の樹形を考え剪定できる。 ・小庭園を作成では自らのイメージを具現化できる。	・造園について興味・関心を持ち、技術・知識の習得に主体的に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A単元 「3級造園技能検定実技試験」 ・実技（作業）試験の区画を準備し、区画の大きさを理解させる。 ・剪定ノコギリの正しい使用方法を身につけさせる。	・実技試験の区画準備、測量・確認 ・丸太の天端を水平に切り出す。 ・各種指定道具の使用方法について。 ・親柱・間柱の据え方について。 ・図面の指示通りに作成できたか。 ・標準時間内に作成できたか。	【知識・技能】 柱の天端を水平に切ることができる。 【思考・判断・表現】 親柱と間柱を、水平器を用いて考え、水平・垂直に据えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して作業に取り組み、効率よく穴を掘り、	○	○	○	9
	B単元 「竹垣」 ・四ツ目垣の各部材の名称と役割を理解させる。	・作成工程、作成手順の確認 ・四ツ目垣の各部材の名称と役割 ・作成工程 ・作業手順 ・図面の指示通りに製作できたか。 ・標準時間内に作成できたか。	【知識・技能】 竹垣の基本構造が理解できている。 【思考・判断・表現】 竹の元口・末口を判断・活用できる。いぼ結びを含め、美しい仕上がりを目指しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 標準時間内に指示通りに完成させることを考	○	○	○	9
	定期考査（中間考査）	農業鑑定試験（実技要素試験に準ず）		○	○		1
	C単元 「石材」 ・実技（作業）試験の石材敷設の工程について理解させる。 ・適切な道具を用いて石材を据え付けさせる。	・石材敷設の工程を理解する。 ・石材の据え付け（ちり、合端）は指示書通りか。	【知識・技能】 石材を道具を利用して水平に据える。 【思考・判断・表現】 石の厚さをから作業内容（掘る深さ、範囲）を判断し、効率よく取り組む。 【主体的に学習に取り組む態度】 標準時間内に指示通りに完成させることを考	○	○	○	9
	D単元 「植栽・仕上げ」 ・植栽についての向きや傾きなどのバランスを考えさせる。 ・適切な道具を用いて植栽できる。 ・整地の目的を考えて丁寧に行う。	・植栽の意味について理解している。 ・指示書に寸法はないので、指示書通りに植栽できているか。	【知識・技能】 植物の向き（正面）を考え、植栽することができる。 【思考・判断・表現】 チリの寸法を考え、適切に土を均すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 時間の限り、丁寧に整地を行っている。	○	○	○	9
	定期考査（期末考査）	農業鑑定試験（実技要素試験に準ず）		○	○		1
2 学 期	A単元 「圃場管理」 ・自ら必要な道具を用意し、安全かつ効果的に使用することができる。 ・雑草の名称、生育特性について理解させる。	・自ら必要な道具を準備し、安全で効果的に使用できる。 ・雑草の特徴から適切な除草方法を選択する。	【知識・技能】 必要な機械類の扱い方を把握しており、安全に使用することができる。 【思考・判断・表現】 必要な道具を考え、準備できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 圃場整備に積極的に参加し、圃場美観の保持に努めている。	○	○	○	10
	定期考査（中間考査）	業鑑定試験		○	○		1
	B単元 「樹木の根巻き」 ・樹木の根巻きについての目的を理解する。 ・根巻きの手順を理解し、樹種に応じて適切に実践する。	・根巻きに必要な資材 ・根巻きの手順 ・樹木の掘り取り方法	【知識・技能】 根巻きの手順を理解しており、実践できる。 【思考・判断・表現】 樹木の大きさなどから、根鉢の大きさを判断し、作業できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 班員と協力し、積極的に実習に取り組む。	○	○	○	10
	定期考査（期末考査）	農業鑑定試験		○	○		1
3 学 期	A単元 「小庭園の作成」 ・小庭園の作成手順を理解している。 ・小庭園の図面を念頭に、施工する。 ・庭園の「見せ方」について考えて作庭できる。	・小庭園の施工について ・小庭園図面の見方について ・小庭園作成の実践	【知識・技能】 様々な科目で学んだ知識を、小庭園に活かすことができている。 【思考・判断・表現】 状況に応じて適切な方法を考え、実践する。 【主体的に学習に取り組む態度】 班員で協力し、妥協せず作成できる。	○	○	○	9
	定期考査（期末考査）	農業鑑定試験		○	○		1

備考：他1単位（総合実習B）を時間外で3.5時間行う。

合計
70

教科： 農業

科目： 課題研究

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 組～ 組

使用教科書： ()

教科 農業

の目標：

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
設定した課題の目的を理解し、実践して知識の定着を図り、課題を解決するために必要な技術を身に付ける。	設定した課題の解決策を探求し、科学的な根拠にもとづいて創造的に解決する力を養う。また、課題について考察し研究テーマをまとめて発表する力を育成する。	設定した課題を計画的に実行し、主体的かつ協働的に学習に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>【知識・技能】 課題を発見する力を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 調査課程及び結果をレポートにまとめその情報を基に課題を設定する力を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力等】 様々な課題に向き合い課題解決に向けて積極的に取り組ませる。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・課題研究とは ・課題の設定 ・調査項目の設定 	<p>【知識・技能】 課題を発見することができる。基礎的な実験方法が身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 実験・実習の経過を適切に記録することができる。</p> <p>【学びに向かう力等】 課題の解決に向けて積極的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	22
	<p>【知識・技能】 各課題の調査、実習方法を検討し研究計画を立てることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 課題解決に向けて基礎的な知識から創意工夫をして計画する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力等】 様々な課題に向き合い課題解決に向けて積極的に取り組ませる。</p>	<p>指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究計画を立てる ・研究の実施 ・1学期の反省と評価 ・夏休み、2学期の計画の作成 	<p>【知識・技能】 各課題の調査、実習方法を検討しそれに基づいた研究計画を立てることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 課題解決のための調査、実習計画を論理的に考えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けて積極的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	23
2 学期	<p>【知識・技能】 各課題の探求に必要な知識、技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考・判断・表現】 各課題の過程及び結果を正確にとらえ、判断する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力等】 様々な課題に向き合い課題解決に向けて積極的に取り組ませる。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究の実施 ・研究のまとめ（中間報告） 	<p>【知識・技能】 関連する法規などに従い、実験・実習を行うことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 実験・実習の経過を適切に記録することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けて積極的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	45
3 学期	<p>【知識・技能】 パワーポイント、ワードを使用して課題研究発表の資料を作成する力を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 各課題の過程及び結果を発表資料にまとめる力を養う。</p> <p>【学びに向かう力等】 様々な課題に向き合い課題解決に向けて積極的に取り組ませる。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書の作成 ・発表資料の作成 ・課題研究発表会 	<p>【知識・技能】 パワーポイント、ワードを使用して発表会の資料を作成することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 実験・実習の経過を適切に報告書にまとめられている。研究結果について自分の考えを明確にまとめられている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 研究発表に向けて積極的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	15
							合計

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 農業 科目 総合実習

教科： 農業

科目： 総合実習

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 E組

使用教科書：

教科 農業

の目標：

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 総合実習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> ・庭園の作成に必要な知識・技術を習得できている。 ・卒業庭園作成について、精度が高く仕上げることができる。 ・卒業庭園の作成を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効率の良い作業方法や手順について考えることができる。 ・図面を具現化するための施工方法を考えることができる。 ・自身のイメージした庭園を平面図に表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・造園について興味・関心を持ち、技術・知識の習得に主体的に取り組むことができる。 ・卒業庭園の作成に積極的に取組み、協力して期限内に作成できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	A 総合的な庭園管理 ・樹木の移植ができる。 ・樹木の剪定ができる。 ・庭園の片付け・管理ができる。	・樹木の移植方法とその時期について ・樹木の剪定について ・卒業庭園を作成するための準備について	【知識・技能】 根鉢の大きさを見極め、移植ができる。 樹木の剪定を自身で判断して実施できる。 【思考・判断・表現】 卒業庭園の作成に向けて、片付けや準備の判断ができる。 イメージを用紙に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に実習に取り組み、提出物などを期限内に提出することができる。	○	○	○	9	
	B 庭園設計 ・テーマをもとに庭園設計ができる ・学習した景観や意匠を踏まえた設計ができる。	・卒業庭園図面の作成について ・設計する上でのテーマについて ・図面作成の手順について	【知識・技能】 テーマに沿って作図を行うことができる。 【思考・判断・表現】 イメージを用紙に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に実習に取り組み、提出物などを期限内に提出することができる。	○	○	○	9	
	定期考査（中間考査）	農業鑑定試験		○	○		1	
	A 総合的な庭園管理 ・庭園施工場所の整地ができる。 ・境界緑石を並べることができる。 ・庭園の片付け・管理ができる。	・整地方法について ・重機の扱い方について ・緑石の敷設方法について	【知識・技能】 緑石をまっすぐに並べることができる。 【思考・判断・表現】 どんな道具や機械を使用すれば効率よく作業ができるか判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 片付けや、整地などに積極的に・主体的に取り組むことができる。	○	○	○	9	
	B 庭園設計 ・テーマをもとに庭園設計ができる ・学習した景観や意匠を踏まえた設計ができる。	・卒業庭園図面の作成について ・設計する上でのテーマについて ・図面作成の手順について	【知識・技能】 テーマに沿って作図を行うことができる。 【思考・判断・表現】 イメージを用紙に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に実習に取り組み、提出物などを期限内に提出することができる。	○	○	○	9	
定期考査（期末考査）	・農業鑑定試験		○	○		1		
2 学期	A 卒業庭園の施工 ・各グループで、施工計画を立て、計画的に施工できる。 ・精度にこだわって施工することができる。	・自ら必要な道具を用意し、安全かつ効果的に使用する ・施工計画を作成し、全体工程を把握した作業ができる ・精度の良い施工方法について	【知識・技能】 必要な機械類の扱い方を把握しており、安全に使用することができる。 【思考・判断・表現】 全体工程を考え、自身のグループの施工計画を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に施工に取り組み、うまく進むように主体的に取組んでいる。	○	○	○	12	
	定期考査（中間考査）	業鑑定試験		○	○		1	
	A 卒業庭園の施工 ・各グループで、施工計画を立て、計画的に施工できる。 ・精度にこだわって施工することができる。	・自ら必要な道具を用意し、安全かつ効果的に使用する ・施工計画を作成し、全体工程を把握した作業ができる ・精度の良い施工方法について	【知識・技能】 必要な機械類の扱い方を把握しており、安全に使用することができる。 【思考・判断・表現】 全体工程を考え、自身のグループの施工計画を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に施工に取り組み、うまく進むように主体的に取組んでいる。	○	○	○	12	
	定期考査（期末考査）	農業鑑定試験		○	○		1	
3 学期	A 卒業庭園のまとめ ・卒業庭園制作の過程をまとめる。 ・建設業協会パネルを作成する。	・制作過程の振り返りについて ・パネル作成の手順・方法について	【知識・技能】 卒業制作の過程を振り返り、思い出すことができる。 【思考・判断・表現】 制作過程が他者に伝わりやすいよう、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的にパネル作成に関わり、提出物を期限内に提出することができる。	○	○	○	6	
	定期考査（期末考査）	農業鑑定試験		○	○		1	
							合計	70

備考：他1単位（総合実習B）を時間外で3.5時間行う。

高等学校 令和7年度（3学年用）教科

農業 科目 環境調査

教科： 農業

科目： 環境調査

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 組～ 組

使用教科書：（ なし ）

教科 農業

の目標：

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 環境調査

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
環境調査について体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付ける。	環境に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を養う。	・環境調査について興味・関心を持ち、技術・知識の習得に主体的に取り組もうとしている。 ・必要な準備物や作業を考え、積極的に行動することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	A 単元 「植生調査」 調査メッシュと樹木の調査方法について理解する。	・ 毎木調査について ・ 林床調査について ・ 樹高算出について ・ 生物調査について ・ 土壌調査について	【知識・技能】 ・ 植生調査の方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 調査の結果を体系的にまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 調査に積極的に取り組み、班員と協力して行っている。	○	○	○	20	
	定期考査			○	○		1	
2 学期	A 単元 「水質調査」 水質の調査方法について理解する。	・ 水質調査について ・ 植生調査について ・ 生物調査について	【知識・技能】 ・ 水質調査の方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 調査の結果を体系的にまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 調査に積極的に取り組み、班員と協力して行っている。	○	○	○	36	
	定期考査			○	○		1	
3 学期	A 単元 「大気質調査」 大気質の調査方法について理解する。	・ 大気質調査について	【知識・技能】 ・ 大気質調査の方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 調査の結果を体系的にまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 調査に積極的に取り組み、班員と協力して行っている。	○	○	○	11	
	定期考査						1	
							合計	
								70

L

